

1月22日新型コロナウイルス感染症対策検討協議会 持ち帰り確認事項

番号	対象部局等	内容	回答												
1	健康部	市内3病院における新型コロナ患者受入れ病床数99床（軽症・中等症、重症それぞれ）の内訳について	<p>市内3病院における新型コロナ患者受入れ病床数（軽症・中等症、重症それぞれ）の内訳について</p> <p style="text-align: right;">（単位 床）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>軽症・中等症</th> <th>重症</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民病院</td> <td>44</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うわまち病院</td> <td>20</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>共済病院</td> <td>24</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※共済病院の24床は疑似症用病床も含まれる。</p>		軽症・中等症	重症	市民病院	44	0	うわまち病院	20	5	共済病院	24	6
	軽症・中等症	重症													
市民病院	44	0													
うわまち病院	20	5													
共済病院	24	6													
2	市長室（協議先：市民部）	防災無線及び防災情報メールサービスを活用した新型コロナに関する情報発信の可否について	<p>防災行政無線は災害時の注意喚起など非常通信手段として運用し、防災情報メールは無線放送を補完するかたちで希望する方に登録をして頂いており、どちらも緊急時に市民の注意や関心を確実に引きつけるための運用をしています。</p> <p>そのため、毎日の患者の発生状況など、本来の目的や運用と異なる情報の発信に使用することは適当でないと考えています。</p> <p>一方で、市民に対して幅広く、強く、注意を呼び掛ける手段としては効果があると思いますので、緊急事態宣言下における外出抑制への協力や感染予防の注意喚起など、状況を見ながら適宜活用していく予定です。</p> <p>なお、多くの市民に情報をお届けする対応として、定日ごみ収集車の放送機器を活用し、1月28日（木）から緊急事態宣言が解除されるまでの間、「不要不急の外出抑制」、「手洗いの励行」、「マスクの着用」、「三密の回避」について、定日ごみ収集時に放送しています。</p>												
3	市長室（協議先：文化スポーツ観光部・市民部）	横須賀中央駅前のデジタルサイネージや庁舎1階液晶を活用した新型コロナに関する情報発信の可否について	<p>デジタルサイネージと庁舎1階の液晶モニターについては、現在もコロナに関する差別や偏見、誹謗中傷を防止する情報の掲載をしており、人の目を集めやすい設置場所であることから、訴求効果が高いと考えています。</p> <p>どちらも、日々の更新は難しいですが、一定期間、継続した周知をしていくことに効果を発揮する媒体と考えていますので、その特性を活かした情報発信に活用してまいります。</p>												